

NA-LIM & Global Conference 2018 参加報告書

日時 : 2018/10/4(木)–8(月)

場所 : ロサンゼルス・コンベンションセンター、ロサンゼルス、USA

報告 : PMI 日本支部理事 水井悦子

はじめに

10月に北米ロサンゼルスで開催された PMI のリーダーシップ・インスティテュート・ミーティング（略称：LIM）および、グローバル・コンファレンスに参加してまいりました。LIM は世界各国の支部リーダーが集い、PMI 本部の方針や施策を共有するとともに、支部リーダーとしてのスキル育成を図る場となっています。本年度は、2019年の PMI 創設 50 周年に向けて、各種施策の枠組みが発表されました。

続いて開催された、グローバル・コンファレンスでは、ここ数年のデジタル・トランスフォーメーションにフォーカスしたトピックや、それに伴うプロジェクト・マネジャーの役割の変化、そして求められるビジネス・スキルやコミュニケーション・スキルに関する 100 以上のセッションが開かれました。また、本年度のプロジェクト・オブ・ザ・イヤーをはじめ、各賞の発表があり、北米以外にもアジア、中東、アフリカ、南アメリカから多数の方が受賞されました。当レポートでは、PMI 最大のイベントである当コンファレンスのご紹介と、グローバルのトレンドや最新動向についてご報告いたします。



1. LIM : リーダーシップ・インスティテュート・ミーティング概要

現在 PMI には、支部と支部候補を合わせて 306 の活動組織があります。半数は北米を拠点としていますが、図 1. が示すように、近年アフリカ諸国の活動拠点が急増しており、北米に次ぐ規模となっています。本年度の LIM には、世界 57 カ国、223 支部より約 1,000 名の支部リーダーが参加しました。アジアからは、日本を含む 9 カ国 19 支部から参加がありました。現在 PMI は、新たな戦略「PMI2.0」に向けてトランスフォーメーションを進行中です。2019 年には、PMI ブランドのリフレッシュを行うことが発表され



図 1. PMI 支部と支部候補分布

ました。ロゴやブランドイメージがどのように進化するか楽しみです。そして、2019 年は PMI 本部が創設 50 周年をむかえます。今回、通年を通じたアニバーサリー企画の枠組みが紹介され、その一環として、来年の LIM およびグローバル・コンファレンスは創設の地であるフィラデルフィアで開催されることが発表されました。

2. LIM キーノート&セッション

オープニング・キーノートに登場したのは、ピクサー・アニメーション・スタジオのディレクター、マシュー・ルーンさんです。ピクサーはアニメーションにCGを取り入れた先駆けですが、これまでコンピューターを用いたことがなかったアニメーションの世界に変革をもたらすことは容易ではなかったようです。テクノロジーやイノベーションに加え、企業文化や環境の醸成が大切だと話されていました。



Matthew Luhn 氏

また、興行的に成功する映画の鍵は「ストーリー」そのものにより、記憶に残り、インパクトがあってパーソナルな内容が求められます。最高のストーリーを作成のために、多様な専門家による会議（ブレイン・トラスト会議）を製作過程で開き、様々なアイデアを議論するそうです。他と協業することによりインスパイアされ、優れたものを作り出す力こそが、ピクサーは他のアニメーション・スタジオとはちょっと違うと言われる所以かもしれません。この講演内容は、現在の破壊的テクノロジーに直面している多くの企業にも通ずるものがあると感じます。テクノロジーやビジネス環境の変化を受け入れ、社内外の多様な専門家を巻き込んで新たな価値を創出することは、20 数年前からピクサーが歩んでいる道に似ていると感じました。

最後に、多くのピクサー映画に登場する謎のコード「A113」に触れておきたいと思います。聴講するまでは気に留めたことはありませんでしたが、皆さんはこのコードに気づかれたことはありますか？ 部屋番号や車のナンバープレート、壁の落書き等、あまり目立たない所に、このコードが使われています。これは、多くのアニメーターが学んだカリフォルニア芸術大学の教室番号だそうです。共に学んだアニメーター仲間だからこそ分かる秘密のコードというわけですが、ピクサーの遊び心を大切にせる企業文化が感じられます。

表 1. LIM : カテゴリ毎のキーノートとセッション数 (67 セッション)

| | | | | | |
|----|----------------------------|----|----|-------------------------------|---|
| 01 | Academic | 6 | 07 | PMI Updates Tools & Resources | 5 |
| 02 | Association Governance | 10 | 08 | Professional Development | 6 |
| 03 | Financial Management | 2 | 09 | Technology | 2 |
| 04 | Leadership Development | 12 | 10 | Volunteer Engagement | 6 |
| 05 | Marketing & Communications | 5 | 11 | Region Mentor | 3 |
| 06 | Membership | 8 | 12 | Wellness | 2 |

LIM では、ボランティア・リーダーに必要なスキルや支部運営に関わる 12 のカテゴリ、67 セッションが開催されました。(表 1) 今回は初参加でもあり、PMI からのアップデートや他支部（トロント、ブラジル、香港）が発表するセッション、そしてマーケティングやメンバーシップに関するセッションを中心に受講しました。今後の活動に活かしていきたいと思います。今年のカテゴリ別チャプター・オブ・ザ・イヤーは次の通りです。

カテゴリ 1 (会員数 : 25-300) ドミニカ共和国 支部

カテゴリ 2 (会員数 : 301 - 1,500) メルボルン支部

カテゴリ 3 (会員数 : 1,500 以上) バンガロール支部、センター・イタリー支部

3. PMI プロジェクト・オブ・ザ・イヤー2018

Project Legacy - Southeast Louisiana Veterans Health Care System Replacement
Medical Center Activation Southeast Louisiana Veterans Health Care System



本年度の受賞は、米国ルイジアナ州ニューオーリンズの退役軍人とその家族のための医療センター再構築プロジェクトが選ばれました。2005年のハリケーン・カトリナにより、ニューオーリンズが壊滅的な被害を受けたことを覚えている方も多いと思います。

退役軍人局の医療センターも例外ではなく、水没により、退役軍人と家族は大切な医療施設を失いました。新施設プロジェクトは、退役軍人への賛辞として「プロジェクト・レガシー」と命名されました。計画スケジュールと予算を下回って完了し、目標とした最初の18ヶ月間に外来患者500,000人以上、外科手術1,000人以上、ケアの10,000日以上のケアを見事に実現しました。

患者にフォーカスし、様々なレベルの患者への適用を実現し、大規模な長期プロジェクトを厳格なプロジェクトマネジメントにより、確定予算・スケジュール内で成功裡に完了したことが、高い評価を受けました。



ファイナリストと3プロジェクトのPMI紹介動画がYouTubeに公開されていますので、ご興味のある方はこちらをご覧ください。

Finalist: [Project Legacy – Southeast Louisiana Veterans Health Care System Replacement Medical Center Activation, Southeast Louisiana Veterans Health Care System \(New Orleans, Louisiana, USA\)](#)

Finalist: [McDonald’s Digital Acceleration, McDonald’s Corporation \(Oak Brook, Illinois, USA\)](#)

Finalist: [Horizonte 2, Fibria Celulose S/A \(Três Lagoas, Mato Grosso do Sul, Brazil\)](#)



授賞式にはマリリン・モンローのそっくりさんが登場

4. PMI グローバル・コンファレンス概要

10月6日(土)は、LIMの最終日とグローバル・コンファレンスの初日が重複する形で開催され、多くの方が参加されました。オープニングでは、テーマである **Be a Champion of Change** (変革のチャンピオンになろう) がメッセージされ、オープニング・キーノートには、2017年までNFLのニューオーリンズ・セインツのプレーヤーとして活躍し、マジシャンとしても著名なジョン・ドレンボスさんが登場しました。聴衆を巻き込んでのトランプを用いたパフォーマンスは、体格と手先の器用さのギャップが面白く、大変引き込まれました。変化するためには、まず自分が変わる必要があることを強くメッセージされていました。



3年振りのグローバル・コンファレンスへの参加でしたが、色々な点で技術進化を遂げており、改めて変化のスピードを実感しました。以前には、事前に Web でセッション予約を行い、時間割や場所を印刷された紙を持ち歩いていました。PMI Event アプリが開発され、セッション予定や資料も全てスマホから確認でき、セッション後のアンケートもスマホでタイムリーに行えるようになりました。これと連動して、PDUの申請も即時実行されます。



また、アンケートが好評価なセッションは、最終日にアンコールとして2回目のセッションが組まれるなど、参加者視点(ユーザー・エクスペリエンス)を大切にしていると感じました。SNSとの連携機能を用いて、セッション後直ぐにTwitterやFacebook、Instagramに投稿していた方も多くいました。

5. PMI グローバル・コンファレンスのキーノートとセッション

セッション・カテゴリも大きく様変わりしており、従来のテクニカルなプロジェクトマネジメントに関するトピックが少なくなり、プロジェクト・マネジャーに求められる新たなスキルエリアや、ヒューマン・スキルの強化にシフトしています。ホット・トピックには、デジタル・トランスフォーメーション、人工知能、ビッグデータ、ロボティクス、イノベーション、ブロック・チェーン、そしてこれからのプロジェクトマネジメント等が含まれました。(表2) プロジェクトマネジメントの世界でも、これらがトレンドとなっています。

表2. グローバル・コンファレンス：カテゴリ毎のキーノートとセッション数
(114セッション、7アンコール・セッション含む)

| | | |
|----|-------------------------------------|----|
| 01 | Analyzing and Process Improvement | 9 |
| 02 | Communication and Teamwork | 25 |
| 03 | Decision Making and Problem Solving | 15 |
| 04 | Enhancing PM Skills | 13 |
| 05 | Hot Topics | 21 |
| 06 | Influencing and Business Strategy | 20 |
| 07 | Practical Case Studies | 11 |

特に、これからのプロジェクトマネジメント人材に関連して、ジェネレーションに関するトピックが幾つかのセッションで取り上げられており、北米における社会課題として関心が高いことが伺えました。

2 目のキーノートとして登場したキャム・マーストンさんによると、PMI 本部メンバーの年齢構成は、36 歳 -44 歳と 45-54 歳のジェネレーション X と呼ばれる世代で 63% となっています。これが 10 年後には確実に右側にスライドし、次のミレニアル世代に引き継がれていくわけです。マーストンさんの説明では、世代毎に働き方や意識に特徴があり、協業のスタイルも異なることから、相互に違いを見出し、受け入れ、最善策を模索する工夫が必要と話されていました。

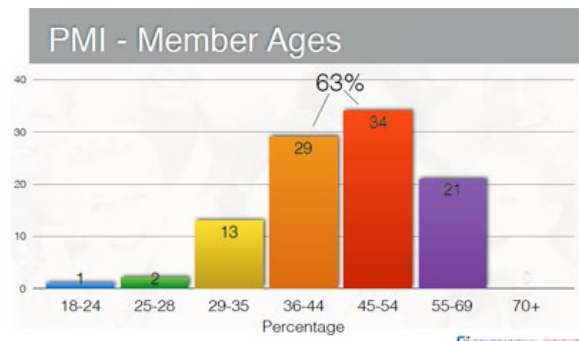


図 2. PMI のメンバー年齢構成

引用: PMI Global Conference Cam Marston 氏講演資料より抜粋

日本は加えて、高齢化社会という課題と抱き合わせになっており、より深刻さを増しています。AI がプロジェクトマネジメントをどこまでサポートできるかというセッションもあり、近い将来の人材不足を補う一手段としてテクノロジーの活用もあるかなと思いました。テクニカルなプロジェクトマネジメントや、予測機能を用いたプロジェクト・マネジャーのサポートについては、十分に実現可能ではありますが、ステークホルダーやチームをリードするのは、やはりプロジェクト・マネジャーの役割として位置づけられると括られていました。今後、機械学習に必要な質と量のプロジェクト・データが収集できるようになると、状況は変わるかもしれませんが、人と人をつなぐ役割として、ヒューマン・スキルの強化が更に重要になると感じました。

おわりに

今回の参加を通して、ビジネスを取り巻く環境やテクノロジーの進化、そして新興国の急激な成長を目の当たりにしました。アフリカや南米の勢いは、これからのビジネス・モデルに影響を与えていくかもしれません。また、来年の PMI50 周年記念で、PMI が次に目指す方向性や戦略が今から楽しみです。

